

# サプリメント作りの 基本的な考え方

Our Basic Policy on Our Supplements

ヘルシーパスの

医療機関専用サプリメントに込めた想い。

それは株主であるドクターの方々との  
お約束。

# Concept!



## 家族・子供たちが安心して飲める サプリメントを

### ■開発責任者 井村の抱いた疑問、そして決意

私たちのサプリメント作りの基本方針は「自身の家族や子供たちが安心して飲むことができるものを作る」です。

この方針は、私(井村)が、社会人としてのスタートを切った、とある天然調味料メーカーの基本方針の一つで、当時は「あたりまえ」のことなのになぜだろうと不思議に思っていました。

しかし、その後社会経験を積んでいくうちに製品が、コスト(原価計算)、流通、代理店、利益至上主義など様々な干渉を受けて、創業者、設計者の熱意や想いとはずれてしまうことがあることを知りました。

食品を例にとると、廃棄ロスを防ぐための保存料、防腐剤、着色料の使用、コストをできるだけ下げするための原料選択や製造工場の選択、食品添加物の過剰な使用、必要以上に派手な包装など、安全性や品質よりも効率的な生産、会社の利益が優先されているということです。

そのため、実際に製造しているメーカーの人間が、自社で作った製品は「食べない」「買わない」「勧めない」という現実があることに気が付きました。

**「作った本人が口に入れない食品をどうして売ることができるのか！当社ではそのようなことはするべきではない！」**

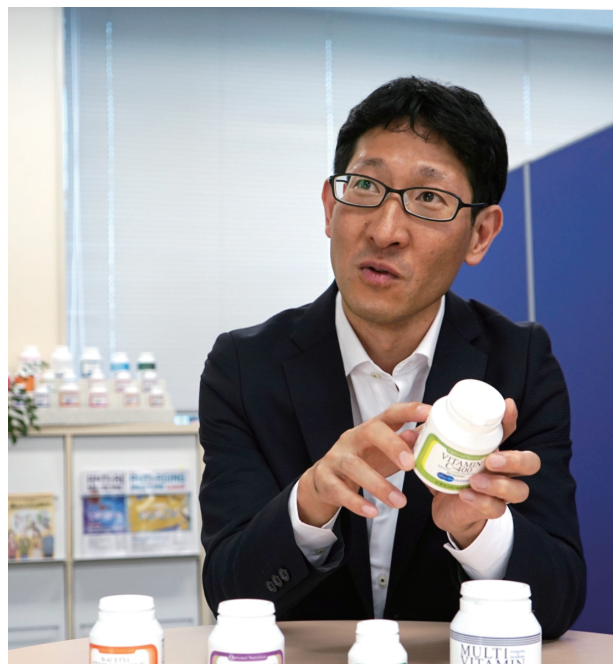
その考え方が、会社の基本方針になっていたのだと、後になって初めて理解できたのです。

### ■設計・製造への決意

そのような経験から、ヘルシーパスでは、自身の家族や子供たちが安心して飲むことができるサプリメントを作ろう!と決意し、日々その考え方で製品作りに取り組んでいます。

実際、私の妻にも妊娠中にマルチビタミンを飲ませていましたし、産まれてきた息子もサプリメントを飲んでいきます。

また、設計・製造を担当する者として何より嬉しいのは、**スタッフ自身や大切な家族が健康管理の為に自社のサプリメントを喜んで飲んでくれている**ということです。



取締役 企画・開発部 井村 聡介

# Action!

## 信頼のおける工場と原料を求めて

### ■原料・工場の選定

基本方針に則り、安心・安全なサプリメントを作ってお届けするために、当社では原料の選定時において各原料ごとに規格書を取り寄せ、**下記の情報を必ずチェック**しています。

- ✓ 起源原料は何か？
- ✓ どの国で作っているのか？
- ✓ どんな工程で作っているのか？
- ✓ 取り扱っているメーカーはどこか？

製造工場に関しては、GMP<sup>\*</sup>認証を取得した工場<sup>\*</sup>で製造を行うことはもちろんとして、**実際に製造する前に工場見学を行い、直接自分の目で、工場、製造ライン、働いているスタッフを見る**ようにしています。出来上がった製品は、自分の目、鼻、舌でチェックを行っています。

また、第三者機関による分析を工場には秘密で行い、最終製品を確認し、常に緊張感を持って製品作りに取り組んでいます。

※GMP(Good Manufacturing Practice)とは日本語で「適正製造規範」と訳し、原料の入庫から製造、出荷にいたる全ての過程において製品が「安全」に作られ「一定の品質」が保たれるよう定められた規則です。

### ■価格決定、原料選定の特徴

サプリメントの設計において、製造メーカーでは、市場調査をもとに希望小売価格を設定し、利益率を計算し、それに合わせて原料を選んでいくのが一般的です。しかし、当社の場合はまったく逆で、効果が期待できるために必要な各栄養素の量をもとに、各原料の配合量、単価、製造コストを積み上げ、その原価に基づいて希望小売価格を設定します。

また、原料選定の際、「品質も安全性も高いA社の原料を使用したいのだが、価格が高く、今回の商品には合わないから最低限の基準はクリアしているB社の原料を使おう」という決断の場面は、一般的なメーカーでは珍しくないでしょう。

しかし、幸いなことに当社の場合には、株主であるドクターの皆様に対して最も優先すべき事項が、「**会社の利益**」ではなく「**自身が安心して摂取できるサプリメントを作ること**」であるため、上記のような選択の場面では迷わずA社の原料を選ぶことができます。これは、設計者としては本当に恵まれたことだと思っています。



## Result!

# こうしてできたヘルシーパスの サプリメント「5つの特徴」

- ① 流行よりも、基本的な栄養素を
- ② 効果を体感できる栄養成分と量
- ③ 原料に対する当社の考え方
- ④ 日本人の為の設計
- ⑤ 日本国内での生産



※初代マルチビタミン&ミネラル

## ① 流行よりも、基本的な栄養素を

現代の食生活は、炭水化物、脂質、タンパク質などの「カロリー栄養素」を過剰に摂取しがちな一方、ビタミンやミネラルなどの微量栄養素の摂取不足に陥りがちです。

そのため、当社は第一優先の基礎サプリメントとして、私たちの命を支える基礎となる5大栄養素のバランスを整えることを考え、微量栄養素をよいバランスで補給するための複合的にビタミン・ミネラルが配合されたサプリメントをお勧めしています。

過剰に摂取しがちな「カロリー栄養素」

摂取不足に陥りがちな「微量栄養素」

たんぱく質

脂質

炭水化物

ビタミン

ミネラル

5大栄養素のバランスを整える「基礎サプリメント」



# Result!

## ② 効果を体感できる栄養成分と量

栄養のアンバランスが原因で不調になった方にとっては、十分な量の栄養素を補給することが重要です。私たちが設計するのは「単に欠乏症にならないためのサプリメントではなく、積極的に健康のレベルを上げていくためのパワーを備えたサプリメント」です。その結果、栄養のプロであるドクターが患者さんの為に使用できるサプリメントをご提供できていると自負しております。

栄養素	単位	日本人の食事摂取基準(2020年版) 目安または推定平均必要量 ※30代男性の場合	ヘルシーパス マルチビタミン & ミネラル	一般的な サプリメント
ビタミンE	mg	6	134	8
ビタミンC	mg	85	500	80
ビタミンB1	mg	1.2	50	1
ビタミンB2	mg	1.3	50	1.1
ビタミンB6	mg	1.1	40	1
ビタミンB12	μg	2.0	100	2
葉酸	μg	200	400	200
パントテン酸	mg	5.0	50	5.5
ビオチン	μg	50	300	45
セレン	μg	25	50	23
亜鉛	mg	9	15	7
クロム	μg	10	100	30

※配合されている栄養素の一部を表示しています。

### こんなに摂れる栄養素

マルチビタミン&ミネラルVer.5 (大小セット)

マルチビタミン&ミネラルに含まれる栄養成分の量を食品に置き換え、日本の摂取基準と比較しました。



ビタミンB1 50mg	ビタミンB2 50mg	ビタミンB6 40mg	ナイアシン 30mg
豚ヒレ肉<4kg>	豚レバー<1.4kg>	にんにく<260かけ>	たらこ<2/3腹>
1.2mg	1.3mg	1.2mg	13mg

ビタミンB12 100μg	葉酸 400μg
しじみ<245個>	えだ豆<125g>
2.0μg	200μg

マルチビタミン&ミネラル (1日分)で摂取できる量

※日本食品標準成分表2020年版(七訂) 日本人が最低限必要と考えられる量

※日本人の食事摂取基準(2020年版) (30~49歳男性の推定平均必要量または、目安量)

## ③ 原料に対する当社の考え方

### ●天然原料を優先して使用

天然原料は吸収率や体内での働きの中で合成原料より優れ、何より食べ物に近いというメリットがあります。しかし、価格が高く栄養素の含有量も低い上に生産ロットごとに微妙に物性や色が異なるため、サプリメントの原料としては使いにくい面もあります。それでも当社ではできるかぎり天然由来原料を使ったサプリメントを作ることを心がけています。



### ●目的に応じた使い分け

当社ではサプリメントに求められる目的によって合成原料も使用します。合成原料は天然由来原料に比べ、栄養素の含有率が高く、価格も安いというメリットがあります。例えば、当社のビタミンCサプリメントには天然原料の「アセロラVC」と合成原料の「ビタミンC-400」があります。アセロラVCは、アセロラから抽出したビタミンCを原料としていますが、ビタミンCの含有率が低いため、同じ量を摂ろうとすると合成のビタミンC(ビタミンC-400)の5倍くらい飲む粒数が多くなってしまい、また価格も高くなります。ビタミンC-400は、ドクターから「患者さんが一度に大量のビタミンCを摂取でき、かつリーズナブルなサプリメントが欲しい」とご要望を受け、あえて合成原料で設計したものです。

また、天然原料では、「酵母」を多く使用しますが、一部の方で酵母にアレルギーがある場合を考慮し、あえて酵母を使用せず合成原料を使用したマルチビタミン&ミネラルも用意しています。

# Result!

## ④日本人の為の設計

海外製のサプリメントは食習慣が異なる私たちにとって最適なわけではありません。

例えば、米国製のサプリメントに多く含まれているヨウ素は、水産物を多く摂る日本人がサプリメントで摂取すると過剰症が心配です。また、米国製のサプリメントは粒が大きく飲み込みにくいものが多いことも課題です。私たちは、日本人の食生活に配慮した設計を行い、抵抗なく飲み込める、小さな形状のサプリメントに仕上げています。



## ⑤日本国内での生産

サプリメントを米国や中国などの海外で生産することは、コスト面などで有利ですが、国境や海を隔てて品質管理を行うことはなかなか難しく、問題発生時の対応も遅くなりがちです。

こうした問題を避けるため、当社では、日本国内のGMP認証を取得した工場で製造を行い、安心、安全のレベルの確保に努めています。





## 医療機関専用サプリメント 株式会社ヘルシーパス

〒420-0859 静岡県静岡市葵区栄町 2-10 1192ビル

無料通話 : 0120-797-464 (平日9時~18時) FAX: 054-255-1188

<https://www.healthy-pass.co.jp>